

[講演要旨]

明治村が語る関東大震災—震災をリアライズするために

名古屋大学減災連携研究センター* 武村雅之

寺田寅彦は関東大震災の体験から「(震災を)充分にリアライズするには存外手数が掛かる」と述べている(「震災日記より」)。一方、鎌倉建長寺で復興に当たった名僧の菅原時保老師は関東大震災の教訓として「人生無常の実際に覚醒すること」と説いている。「現前の予測に期待することなく日頃から過去を反復想定し、あらゆる可能性を覚悟しておけ」ということだろうか。平常時に我々が過去に起こった震災を学び知識としてだけでなくリアライズするためにはどのようにすればいいのだろうか？筆者は現存する震災の慰霊碑や記念碑や遺構、さらには震災を凌いだ建造物や復興に際して建設された建物などを活用できないかと考えている。これらを活用する場合には、周辺の資料などを調べて付加する必要がある反面、実態があり、文書に書かれたことよりリアライズの助けになりやすい。また体験者による震災の語り部に科せられる時間的制約も少ないように思われる。

6年あまり前、生まれて初めて愛知・名古屋の地で生活するようになった筆者は、愛知県に最適な場所があることを見つけた。愛知県犬山市宇内山1番地にある博物館明治村である。妻が自宅のある東京から単身赴任先の名古屋市を訪れた際に二人で行っ

たのが始まりであった。村内で見覚えのある橋を見つけたのである。その名は「新大橋」。関東大震災で火災のために多くの犠牲者を出した隅田川に架かる五大橋のうち、唯一火災を免れ、1万人あまりの人々の命を救ったとされる橋である。人呼んで「人助け橋」、新大橋は昭和52(1977)年に新しい橋に架け替えられ、現在の橋の主塔に旧橋のレリーフがある。「人助け橋」の姿を偲ぶにはそれ以外ないと思っていた筆者にとって、橋の実物が存在すること自体、夢のような出来事であった。それがきっかけとなって村民登録をし、明治村を隈なく歩いてこの目で確かめた結果、村内の建造物のうちの三分の一以上が関東大震災をくぐり抜けていたことがわかった。同時に、それらの建造物に震災体験を語らせたいという思いが募り周辺の資料を調べた。

調査を終えた筆者は知人を中心にツアーを組んで村内を案内する試みを始めた。このほど、さらに多くの方々に震災追想博物館としての明治村を知って欲しいと思い、著書『減災と復興：明治村が語る関東大震災』(風媒社)を上梓する。本発表はその内容の紹介である。

博物館明治村にある関東大震災の被災地にあった建造物一覧

No.	村番地	建造物名	当初構造形式	竣工年	創建地点(現在住所表示)	震災時住所(旧住所表示)	震度
1	1-4	近衛局本部付倉庫	木造平家建	明治21年(1888)	千代田区千代田	市内麴町区宮城(坂下門内)	5-
2	1-5	赤坂離宮正門哨舎	木造平屋建	明治41年(1908)	港区元赤坂2丁目	市内四谷区仲町1丁目	5-
3	1-7	学習院長官舎	木造二階建	明治42年(1909)	豊島区目白1丁目	府下北豊島郡高田町	5+
4	1-8	西郷従道邸	木造二階建	明治10年(1877)代	目黒区青葉台2丁目	府下荏原郡目黒町上目黒	5-
5	1-9	森?外・夏目漱石住宅	木造平家建	明治20年(1887)頃	文京区千駄木1丁目	市内本郷区駒込千駄木町	6-
6	1-10	東京盲学校車寄	木造	明治43年(1910)	文京区目白台3丁目	市内小石川区雑司ヶ谷町	5-
7	1-11	二重橋飾電燈		明治21年(1888)	千代田区千代田	市内麴町区(旧西御丸)	5-
8	1-12	鉄道局新橋工場	鉄骨造平屋建	明治22年(1889)	港区東新橋1丁目	府下荏原郡品川町南品川宿	6-
9	3-25	北里研究所本館・医学館	木造二階建	大正4年(1915)	港区白金台5丁目	市内芝区白金三光町138番地	5+
10	3-26	幸田露伴住宅「蝸牛庵」	木造二階建	明治初年(1868)代	墨田区東向島1丁目	府下南葛飾郡寺島町1716番地	6-
11	3-29	品川燈台	煉瓦造	明治3年(1870)	品川区港南5丁目沖	市内芝区(第2台場)	-
12	3-33	宗教大学車寄	木造	明治41年(1908)	豊島区西巢鴨3丁目	府下北豊島郡巢鴨町	5-
13	4-35	日本赤十字社中央病院病棟	木造平家建	明治23年(1890)	渋谷区広尾4丁目	府下豊多摩郡渋谷町	5-
14	4-41	六郷川鉄橋	鉄骨造	明治10年(1877)	蒲田駅-川崎駅間(多摩川)	神奈川県足柄上郡清水村	6-
15	4-44	鉄道寮新橋工場・機械館	鉄骨造平屋建	明治5年(1872)	港区東新橋1丁目	府下荏原郡品川町・大井町	5+
16	-	汐留火力発電所煙突基礎	煉瓦造	明治35年(1902)	港区東新橋1丁目	市内芝区汐留町(新橋工場)	5+
17	4-45	工部省品川硝子製造所	煉瓦造	明治10年(1877)頃	品川区北品川4丁目	府下荏原郡品川町北品川宿	5+
18	4-47	本郷喜之床	木造二階建	明治末年(1910)頃	文京区本郷2丁目	市内本郷区弓町2丁目17番地	6-
19	5-55	隅田川新大橋	鉄骨造	明治45年(1912)	中央区-江東区(隅田川)	市内日本橋区-深川区	5+
20	5-57	川崎銀行本店	鉄筋コンクリート造	昭和2年(1927)	中央区日本橋3丁目	市内日本橋区通3丁目8-10番地	5-
21	5-58	皇居正門石橋飾電燈		明治21年(1888)	千代田区千代田	市内麴町区(旧西御丸)	5-
22	5-59	内閣文庫	煉瓦・石造	明治44年(1911)	千代田区千代田	市内麴町区(大手門内)	5-
23	5-60	東京駅警備巡查派出所	鉄筋コンクリート造	大正3年(1914)頃	千代田丸の内1丁目	市内麴町区永楽町1丁目	5-
24	5-67	帝国ホテル中央玄関	鉄筋コンクリート造	大正12年(1923)	千代田区内幸町1丁目	市内麴町区内山下町1丁目	6+
外1	3-27	西園寺公望別邸「坐漁荘」	木造二階建	大正9年(1920)	静岡市清水区興津清見寺町	静岡県庵原郡興津町	-
外2	3-68	芝川又右衛門邸	木造二階建	明治44(1911)	兵庫県西宮市上甲東園2丁目	兵庫県武庫郡甲東村	-

市内：東京市、府下：東京府

* 〒464-8601 名古屋市千種区不老町